

総務委員会（7月22日～24日）



大阪市

上越市：地域活動支援事業について
 高岡市：アクティブシニア・チャレンジプロジェクトについて
 大阪市：大阪市立大学の就職支援について
 上越市は、28ある地域自治体に地域協議会を設置、地域協議会委員を公募選制で選任し、総額2億円の地域活動資金を配分して、住民の自発的・主体的な地域活動を推進しています。本市が推進する協働のまちづくり事業の今後を考える上で参考となりました。
 高岡市は、シニアが活躍する町の創出をめざして、シニア世代の活性化とまちづくりへの主体的な参加につながる施策を展開しています。
 大阪市立大学の先進的な就職支援の取り組みは、27年春に卒業する福山市立大学の一期生の就職支援活動の参考となりました。

民生福祉委員会（7月22日～24日）



熊本市

田川市：暖家の丘について
 熊本市：慈恵病院の「こうのとりのかご」について
 熊本県：熊本県認知症疾患医療センターについて
 （くまもと心療病院）
 北九州市：北九州障害者しごとサポートセンターについて
 慈恵病院が取り組む養育できない赤ちゃんを預ける「こうのとりのかご」は、「誕生し健全に育つ」といった、ごく普通のことか「難しい社会の様相を感じさせ、説明された看護部長のお話に胸が痛む思いがしました。
 ゆりかごの利用件数は年々減少していますが、これは24時間体制での相談・支援の充実にあります。どうしても育てられなければ特別養子縁組の道もあり、未婚や若年の思いがけない妊娠出産によって、孤独感の中で追い詰められるといった社会にしないように、政治の取り組みを見つめ直す機会になりました。

任の報告 委員視察

文教経済委員会（7月23日～25日）

豊橋市：英会話のできる豊橋っ子の育成事業について
 南木曾町：妻籠宿の町並み保存事業について
 中津川市：ちこり村の農商工連携、地産地消、高齢者雇用の取り組みについて
 豊橋市は、外国人が多く住み、「将来にわたって国際社会で活躍する豊橋っ子」「外国の人々と共通理解をはかり、快適な共生文化を築く豊橋っ子」をモットーに掲げ、小学校3年生から英語の授業を行っています。本市でも今後、小中一貫教育に取り組む中で、英語教育の早期導入について考えさせられました。
 南木曾町では、宿場の町並み保存を進めようと、地元有志の提案により昭和46年に「妻籠宿を守る住民憲章」が制定され、今もって保存の大きな精神的なよりどころとなっています。40年余り経過した今でも保存工事が継続的に行われていたのが印象的でした。



中津川市

建設水道委員会（7月24日～26日）



鹿児島市

鹿児島市：上下水道事業の経営について
 長崎市：空き家・空き地の適正管理について
 福岡市：公共交通事業者等の共同による公共交通の活性化について
 長崎市では、長年にわたり使用されず、適正に管理されていない老朽化した危険な空き家で、所有者からその建物と土地が市に寄付されたものは、市で取り除き、跡地を公共空間にして、住環境の整備を進めています。周辺住民の安全・安心の確保とともに、まちの景観保全にも役立つ制度であると感じました。
 福岡市は、市民の生活交通を確保するため議員間討議を重ね、議員提案により「生活交通条例」を制定するなど、議員提案による政策条例を多く制定しており、議会の政策立案機能の強化に向け、議会事務局の補佐機能が強化されていることが参考になりました。

編集後記

話をするときには、相手に伝えたいと思って、心を入れて話します。「議会だより」の編集も同じことではないかと思えます。そんな気持ちで委員全員が編集に関わっています。
 さて、初の特集記事「初の議会報告会を開催！」は、どのような感想を持たれましたか。
 今後の紙面充実のために、ぜひともご意見をいただければと思います。

（柘原）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200